

# 子どもの歯を守る懇談会 報告書

日 時	平成27年10月17日 土曜日 (10時45分～11時10分)
場 所	生野区 舍利寺小学校
対 象	低学年の子供たち
講師名	林 昭典 学校歯科医会の出席 (有・ <input checked="" type="radio"/> )
演 題	バイオフィルムについて
講 演 内 容	<p>舍利寺小学校校門そばのメダカ池の水草や泥のヌルヌルした中には微生物いっぱいが住んでいます。台所やお風呂場の排水溝のヌルヌルしたものは同じように細菌の塊です。私たちの口の中にも同じようなヌルヌルした菌垢中にもいろいろな菌がすんでいます。ただども、すぐにお腹痛やカゼを引きません。これは、どうしてでしょうか？インフルエンザのウイルスや食中毒を起こす菌と虫歯菌や歯肉炎を起こす菌とは性質が違います。常在菌というものです。私たちと細菌は、一緒に住んでいます。お腹の中や、皮膚の上にも。お口の中にお菓子や砂糖を含んだ清涼飲料水を飲むと、それらの菌が酸を作って歯を溶かし始めます。虫歯の始まりです。このヌルヌルは、うがいではとれません。だから隅々までしっかりと歯ブラシをしてください。児童は講堂から教室に移り、私は、各教室を回り、パペットを使って、ブラッシング指導を行いました。</p>
質 問 事 項	<p>「はみがきじょうずくんは男の子ですか？女の子ですか？ポニーテールしてあるから女の子ですか？」この質問には、答えようがありませんでした。</p>
学校 の 協 力 度	<p>養護の村井先生は大変協力的でしたし、子どもたちのことをよく観察されておられました。</p>
感 想 課 題 反 省 点	<p>バイオフィルムの話は、少し難しいかなと思いました。しかし、いろいろな例を挙げていくと、「お風呂の釜から出てくるのも同じ??」「洗濯機の黒い汚れも??」と私が想定していた以上にわかっていたと思いました。位相差顕微鏡で見せたときは、驚きの声が上がりました。こんなのがお口の中にあると認識されたようです。「その菌を飲み込んでもだいじょうぶ？」と聞かれたので、胃の中で溶けてしまうと答えました。子供と接していると思ってもよらない質問が飛んできてこちらがアタフタすることもありました。じょうずくんを使って、歯磨き指導をしましたが、大変食いつきがよく、やっている本人が驚きました。じょうずくんのまねをしてブラッシングしてくれました。低学年は、パペットで説明をした方が効果的だし、復話術もまぜたら大成功間違いなしと思いました。講堂で、聞いている父兄の人数が少ないのが残念でした。</p>